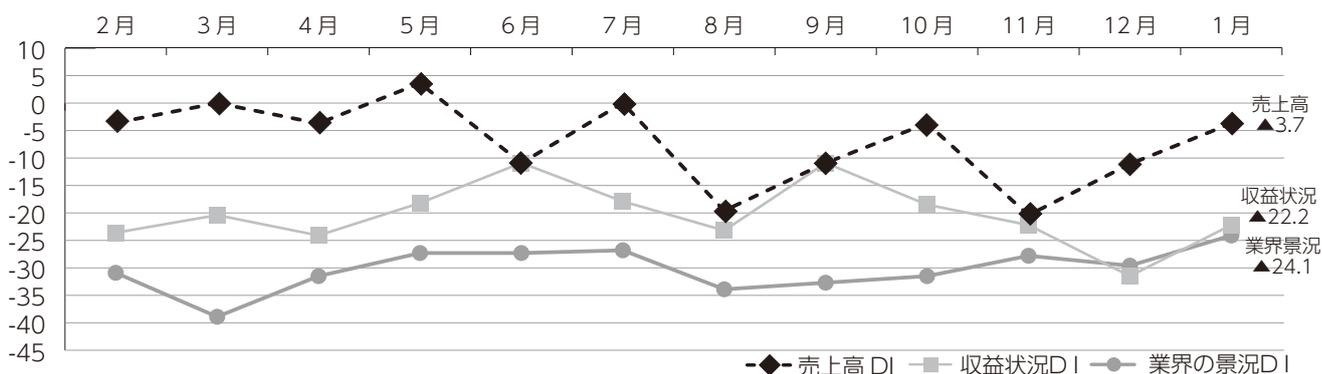


一部業種で季節需要がみられるも コスト増が収益を圧迫

概況

原材料・燃料費高騰が全業種で収益を圧迫しており、依然として厳しい状況にある。製造業では、円安による輸入コスト増に加え、人手不足が受注の機会損失を招くケースがみられた。非製造業の小売業や商店街では、初売りや成人式関連で時期的な需要増があったものの、業種全体では物価高騰・人手不足に苦慮している様子がみられた。

主要DIの推移（全体）



景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁	☁☀	☁	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔
製造業	食料品	☁☔☔	☁	☁☔	☁☔☔	☁☔	☁☔☔	☁☔	☁☔☔
	繊維製品	☁	☁	☁	☁☔	☁	☁☔☔	☁☔	☁☔☔
	窯業・土石	☁☔	☀	☀	☁☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔
	機械・金属	☁☔☔	☁☔	☁	☁	☁☔☔	☁☔	☁☔☔	☁☔☔
	その他	☀	☁☔☔	☀	☁☔☔	☁	☁	☁☔☔	☁☔☔
非製造業	卸売業	☁	☁	☀	☁☔☔	☁☔☔	—	☁☔☔	☁☔☔
	小売業	☁☔☔	☁	☁	☁☔☔	☁☔	—	☁☔	☁
	商店街	☁	☁☔	☀	☁☔	☁☔	—	☁☔☔	☁☔☔
	サービス業	☁☔☔	—	☁☔☔	☁	☁☔	—	☁☔☔	☁☔☔
	建設業	☁☔☔	—	☀	☁	☁	—	☁☔	☁
	運輸業	☁	—	☁	☁	☁☔☔	☁☔	—	☁



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>[パン] 原料コストの上昇に歯止めが利かない状況が続く。</p> <p>[製麺] 販売数量の微減、経費の増加、従業員確保難等、悪い状況が継続。</p> <p>[酒造] 売上数量について、純米酒は好調だが、全体的には前年を下回った。</p>
織 維 製 品	<p>[織物（桐生）] 本来は織機の稼働率が一年で一番高い時期だが、動いているのは一部の特殊な織機だけであり、非常に厳しい状況となっている。</p> <p>[刺繍] 資材費や燃料費高騰の影響、人材不足は解消できず、小ロット生産のところが多い。付加価値の向上やSNS等を活用したオンライン受注、ブランド化の必要性を感じている。</p>
窯業・土石	<p>[コンクリートブロック] ブロック製造時に使用する薬品類が値上がりしたことに加えて、骨材の値上がりも今春に予定されており、利益確保を不安視している。</p> <p>[生コンクリート] 出荷量について、東毛地区、西毛地区、藤岡地区で出荷量が大幅増加したが、中央地区ははじめ吾妻地区、渋川地区が大幅に減少したため全体では減少した。</p> <p>[砕石] 売上高は、西毛地域では増加するも、他の地域では減少。吾妻地域の東部地区では上信自動車道関係の工事が盛況だが、草津の民間工事と町の公共事業は減少傾向。</p>
機 械 ・ 金 属	<p>[めっき] 円安による輸入原材料、金属類の高値が続いている。受注の低迷が続いている。</p> <p>[機械金属（高崎）] 自動車関係は未だに落ち込んでおり、回復の兆しが見えない。人材不足にどの組合員も陥っており、外国人に頼っている状況。</p> <p>[自動車関連] 人材不足、従業員の高齢化等により仕事があっても受注できない等が大きな経営リスクになっている組合員がいる。また、コロナ禍時の借入返済も経営を圧迫している。</p>
そ の 他	<p>[紙製品] 食料品を中心とする物価上昇に伴い、業界全体の状況としても化粧箱や段ボールケースの消費量に大きな影響があると感じている。</p> <p>[印刷] 賃上げ、人手不足の問題は深刻であり、経営への影響を懸念している。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>[紙卸売] 価格転嫁が十分でなく利益は伸び悩んでいる状況。販売価格の適正化や物流効率の改善に取り組み、収益体質の強化を図る必要性を感じている。</p> <p>[再生資源] 鉄屑について、東南アジアでの需要が高く、価格は強含みで推移。発生量、メーカーの生産量は低調。非鉄の価格は高水準で推移しており、盗難等の発生を懸念。</p>
小 売 業	<p>[中古自動車オークション] 出品、成約共に前年実績を下回り、手数料収入もマイナスと厳しい状況。2月の大型オークションに向けた出品控えの影響もあるが出品台数の確保が課題。</p> <p>[生花] 本来であれば昨年中に各家庭等に正月用の花が行き渡り、寒さもあって来客数の少ない月だが、成人式で恋人・友人に花を渡すムーブメントがあり、花の需要が増加した。</p>
商 店 街	<p>[前橋市] 寒さも厳しくなり、平日だけでなく、土日の人出も減ってきた。厳しい時期が続く中、初売り・初市まつりが実施され、多くの人出で賑わいをみせた。</p> <p>[高崎市] 寒い日が続くが、だるま市・大型店の初売りで駅前を中心に賑わった。</p> <p>[富岡市] 年末年始の人出は多かったが、休暇が終わった後は寒さのためか閑散としていた。</p>
サービ 業	<p>[建設設計] 建築士の高齢化が深刻。若手不足に加え、県外（首都圏）への人材流出もあり、後継者不在による廃業や一人事務所の消滅を危惧している。</p> <p>[草津温泉] 宿泊人数は若干減少したが、物価高騰に対応するため宿泊単価を見直しており、同水準を維持。インバウンドは先月に続いて微減。</p> <p>[四方温泉] 例年に比べて積雪が少なく、気温も寒くなかったことから、キャンセルが少なかった。宿泊単価を上げても、原材料等の値上げから利益幅が少ない。</p> <p>[美容] 新規店舗が増え、競争が厳しさを増す中、美容室の維持コストは膨れ上がっている。コロナ禍以降、来店サイクルが長くなっていることも苦しい要因の一つ。</p> <p>[不動産取引] 自然災害が比較的少ない地理特性や交通網の良さを生かし、東京圏を中心とした企業からの需要が増加しており、工業用地は価格の上昇傾向がみられる。</p>
建 設 業	<p>[建設] ガソリン税の暫定税率廃止が決定したが、道路維持・整備に充てる道路特定財源が減少することになり、工事発注が減少する事態を危惧している。</p> <p>[電気工事] 受注量を増加させたいが、作業員が増員できず受注を見合わせている状況。その中、インフルエンザ等の感染者が増え、仕事の割り振りに苦慮する組合員が増えている。</p> <p>[砂利採取] 販売価格は昨年比で上がっているが、資機材価格、部品代、修理代、電気代等すべて高止まりしており、生産コストアップ分を販売価格が吸収できていない状況。</p>
運 輸 業	<p>[一般貨物運送] 飲料・食品・建材・資材を問わず、荷物情報が少ない状況が続いている。例えば飲料水に関して、通常複数回の配車があるところ、1回で終わるケースがみられた。また、日本海側の降雪の影響で、予定していた工事等が延期やキャンセルになったことで、来月以降のしわ寄せによる車両不足を懸念している。</p>

※本調査は、情報連絡員56人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。